

## 2024 年度秋季大会報告

### チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしやい」「コンシェルジュ」報告書

チャレンジ支援委員：濱田、天野、香月、吉川

2024 年 11 月 16 日(土) 12:10-12:55 わかばさんいらっしやい

2024 年 11 月 16 日(土) 12:00-16:00、17 日(日) 9:00-13:00 コンシェルジュ

2024 年度日本語教育学会秋季大会(対面開催)にて「わかばさんいらっしやい」「コンシェルジュ」を実施しました。「わかばさんいらっしやい」は大会1日目の12:10-12:55 に行いました。研究をはじめたばかり、大会参加に不慣れな「わかばさん」を主な対象として、大会参加の不安を取り除き、「わかばさん」同士のネットワークを築くことを目的に実施しました。事前登録は 4 名にとどまりましたが、当日は委員の呼び込みのかいもあって、16 名の方が参加してくださいました。会の前半では、委員から学会参加へのガイダンスと質疑応答を行い、15 分ほどで大会全体のスケジュール、各種発表の特徴を説明しました。後半ではわかばさん同士が交流する「わかばさん交流会」を行いました。交流会では3~4人でグループに分かれて約 30 分間わかばさん同士が交流を楽しみました。大会への参加目的や現在取り組んでいる研究テーマ、教育実践上の疑問など話題はさまざま、年代や地域の垣根を越えて活発な交流が行われました。



わかばさん交流会

参加者による事後アンケートでは、11 名の方から回答をいただきました。会の開催日時についてはほとんどの方が適当と答えていて、今後もこの時間帯に行うのが適当だと思われそうですが、直前のプログラムや大会の参加受け付けの関係上、会の開始が予定より遅れました。毎回のことなので、それを見越したプログラム作りが必要です。「わかばさんいらっしやいをどこで知りましたか」という質問には、9 名の方が「学会のホームページを見た」と答えていました。飛び入り参加の方が多かったにもかかわらず、ホームページの案内から事前に「いらっしやい」の存在を知ってくださったことがうかがわれます。「交流会」については、10 名の方が肯定的な回答でした。自由記述に「よい出会いがあった」「いろいろな話ができた」などの意見があり、交流会を行った意義があったと感じられます。



コンシェルジュブースと西口会長

「コンシェルジュ」は、わかばさんが大会に円滑に参加できるように、ブースを設けて随時質問に対応するというものです。大会2日間を通して大会受け付けのそばにブースを設置し、委員が黄色い法被を着て、質問に対応しました。今年度はシフトを組まずに時間の空いた委員が自主的にブースに駐在するようにしましたが、途切れることなく誰かがブースに入っていました。質問はそれほど多くはなく、内容も学会参加に関する質問とは関係の薄いものが大半を占めました。コンシェルジュの役割については、今後再検討が必要です。黄色い法被を参加者の方々に広く知ってもらう方法も、課題として挙げられます。

「いらっしやい」「コンシェルジュ」にお越しくくださったみなさま、ありがとうございました。